

本物の秋を

ちよつとかかへ布団をひつぱつて午

ちうすしひつばさ じも寒い

どろしびく水

氣温を測る 二〇度

これじやさむいゆかた

布団のふかう ひざかかしてしり

クイレット止のミヨールをかか

えりもととちぢあんにあま

手首甲のキアタヒしとつた

ニホみ上 防御のしようがな

時向をふかば うれあなかくなると

想つてまう

朝六時けすいむり 七時とあつても

気温とつてあな

紅糸牙い ぶさとして へてせけまかく

こととす

昨日 立秋だうだ

かしニター「おとうすのくあいい 気候をみりせて

いさ せんをばあつたかたのた

たにしなもろだ

ひさし尚温か上うかまじい水

今朝のひんやりを考えた

手ぬぐいのかや布団一枚ふやしてもうた

これで寝かして夜をまかえろね

こんなことをしてやたら

本物の寝をまかえるとは

秋 さすし さすし だ

とりあえず かや布団だけふやしてもろた

着るものは 寝とふやしいものか

あつたかろ と考えた

見たやれは少かわるい

千夜何秋半暇 呆然か何事とぞ

2023
9/24